



【校訓】 自主・友愛・健康

【めざす学校像】

- 児童・生徒が安心・安全に学べる学校
- 組織として対応できる学校
- 児童・生徒・保護者・地域・行政と連携協力し地域と共にある学校

【めざす児童・生徒像】

- みんなのために自ら考え行動できる生徒
- みんなで協力し、互いを高め合えることができる児童・生徒
- 自分の意見を進んで発言できる児童・生徒

【めざす教職員像】

- 自己研鑽に努め、互いに高めあえる教職員
- 人権教育を基盤とし、生徒に寄り添い、適切な指導を行うことができる教職員
- 児童・生徒・地域・保護者から信頼される教職員

【めざすゴール】

◎R6学校教育目標

「ふるさと天水町に誇りを持ち、たくましく生き抜く児童・生徒」

◎R6生徒会スローガン

「翔～今を駆け抜ける～」

※生徒会3本柱

- ①みんなのために自ら考え行動できる生徒
- ②みんなで協力し、互いを高め合うことができる生徒
- ③自分の意見を進んで発言できる生徒

【育成をめざす資質・能力】

- 自分の思いや考えを伝え合い学び合い未来を切り拓く力（知）
- 自他を大切にし、感謝と思いやりの心（徳）
- 生涯を通じて健康体力づくりに励むことができる力（体）

自律と協働の育成

【生徒の実態】

- 明るく素直で、学校行事等に積極的に活動する生徒が多い。
- 発言力に個人差がみられるが、学び合い活動等は好きな生徒が多い。
- 学力の二極化が見られ、基礎的・基本的事項の習得に課題がある。
- SNS等の情報モラル面で課題がみられる。

夢・笑顔

【保護者・地域の実態】

- 学校の教育活動への理解があり、たいへん協力的である。
- 地域全体で子どもを見て、見守る雰囲気がある。



【経営の基本方針】

- ①自ら主体的に学び、確かな学力を身につけた生徒を育成するため、共通実践を決め、取組の検証を繰り返しながら組織的に授業改善に取り組む。
- ②学校教育の根幹に人権教育を据え、一人にこだわり、一人一人の生徒の「心の居場所づくり」を行いながら、多様性を尊重し、思いやりのある心豊かで良好な人間関係の構築に努める。
- ③それぞれの心身の発達状況に応じ、心身ともに健康な体力を備えた生徒の育成に努める。
- ④地域とともにある学校づくりを推進するため、学校運営協議会と連携を図り、学校の公開と保護者、地域の協力体制を確立する。
- ⑤感染症対策の共通理解と共通実践を図り、生徒にとって安心安全な環境づくりを推進する。
- ⑥組織的な対応の場面を増やし、働き方改革の充実を図り、職員の心身の健康を増進することで、教育に対する意欲を高め、教員としての専門性を高める。

【重点努力事項（知）】

- 「熊本の学び」の推進
 - ・基礎的・基本的事項の確実な習得
 - ・学習過程の工夫
 - ・英語・日本語教育の充実
- 読書活動の推進

【重点努力事項（徳）】

- 人権教育、道徳教育の充実
- 心の居場所づくりの推進
- 生徒会活動の活性化

【重点努力事項（体）】

- 基本的生活習慣の充実
- 体力づくりの推進
- 健康教育の充実と保健・給食管理の徹底
- 安全教育及び安全管理の充実